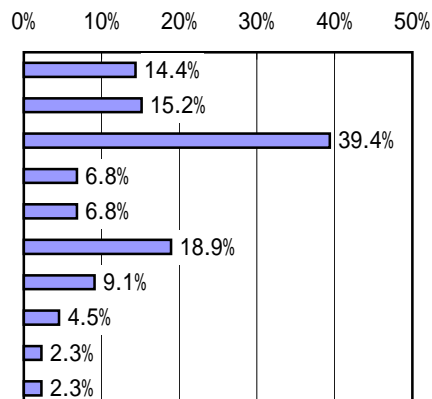


しっかりしてや！！流域委員会～新しい川づくりに向けた意見交換会～（2004.2.28）
に関するアンケート 集計結果

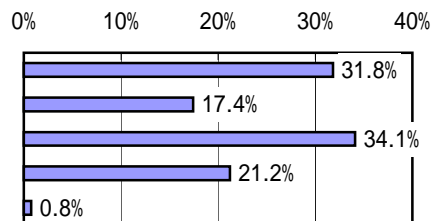
Q1. 本日、この会に参加いただいたきっかけを以下から選んでください

項目	件数	構成比
1 委員から案内された	19	14.4%
2 知人(委員以外)から案内された	20	15.2%
3 庶務から案内チラシが届いた	52	39.4%
4 流域委員会会場でチラシを見た	9	6.8%
5 市役所など公共施設でチラシを見た	9	6.8%
6 行政関係者から案内された	25	18.9%
7 インターネットホームページ	12	9.1%
8 新聞で見た	6	4.5%
9 その他	3	2.3%
n 無回答	3	2.3%
回答者数	132	100.0%



Q2 - 1. どのグループに参加しましたか

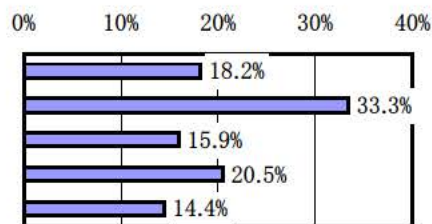
項目	件数	構成比
1 琵琶湖	42	31.8%
2 淀川(環境・利用)	23	17.4%
3 淀川(治水・利水)	45	34.1%
4 猪名川	28	21.2%
n 無回答	1	0.8%
回答者数	132	100.0%



Q2-2. 参加したグループはいかがでしたか

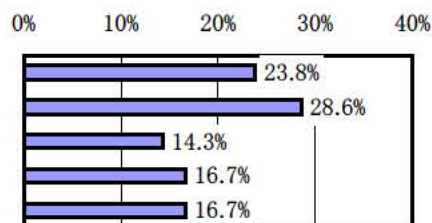
【全体】

項目		件数	構成比
1	とても活発に意見交換ができていた	24	18.2%
2	まあ意見交換ができていた	44	33.3%
3	あまり意見交換ができていなかった	21	15.9%
4	意見交換になっていなかった	27	20.5%
n	無回答	19	14.4%
回答者数		132	100.0%



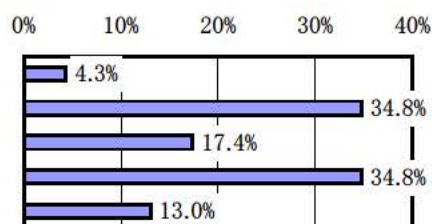
【琵琶湖グループ】

項目		件数	構成比
1	とても活発に意見交換ができていた	10	23.8%
2	まあ意見交換ができていた	12	28.6%
3	あまり意見交換ができていなかった	6	14.3%
4	意見交換になっていなかった	7	16.7%
n	無回答	7	16.7%
回答者数		42	100.0%



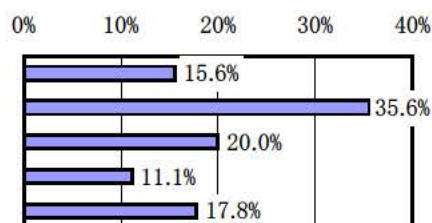
【淀川(環境・利用)グループ】

項目		件数	構成比
1	とても活発に意見交換ができていた	1	4.3%
2	まあ意見交換ができていた	8	34.8%
3	あまり意見交換ができていなかった	4	17.4%
4	意見交換になっていなかった	8	34.8%
n	無回答	3	13.0%
回答者数		23	100.0%



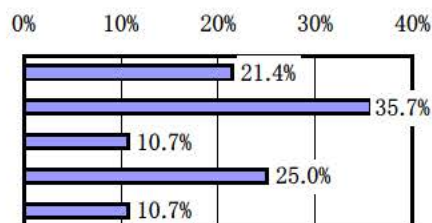
【淀川(治水・利水)グループ】

項目		件数	構成比
1	とても活発に意見交換ができていた	7	15.6%
2	まあ意見交換ができていた	16	35.6%
3	あまり意見交換ができていなかった	9	20.0%
4	意見交換になっていなかった	5	11.1%
n	無回答	8	17.8%
回答者数		45	100.0%



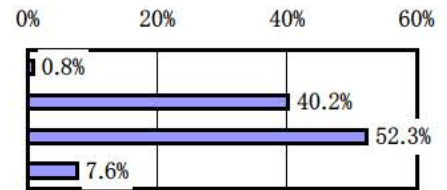
【猪名川グループ】

項目		件数	構成比
1	とても活発に意見交換ができていた	6	21.4%
2	まあ意見交換ができていた	10	35.7%
3	あまり意見交換ができていなかった	3	10.7%
4	意見交換になっていなかった	7	25.0%
n	無回答	3	10.7%
回答者数		28	100.0%



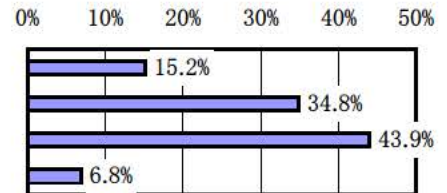
Q2-3. 意見交換の時間(90分程度を予定)は、適当でしたか

項目		件数	構成比
1	長い	1	0.8%
2	適当である	53	40.2%
3	短い	69	52.3%
n	無回答	10	7.6%
回答者数		132	100.0%



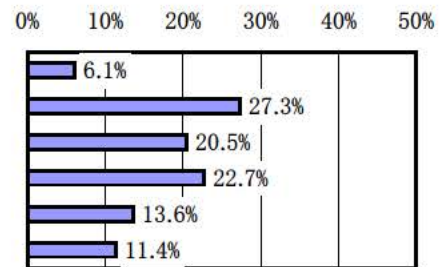
Q2-4. 本日のグループ別意見交換の運営方法に満足されましたか

項目		件数	構成比
1	満足している	20	15.2%
2	どちらとも言えない	46	34.8%
3	やや不満がある	58	43.9%
n	無回答	9	6.8%
回答者数		132	100.0%



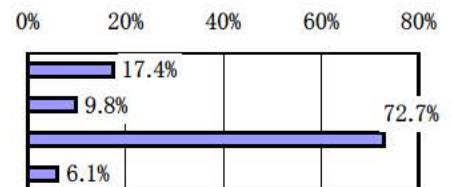
Q3-1. 本日の意見交換会全体を通して、満足されましたか

項目		件数	構成比
1	満足している	8	6.1%
2	まあ満足している	36	27.3%
3	どちらとも言えない	27	20.5%
3	やや不満がある	30	22.7%
3	不満がある	18	13.6%
n	無回答	15	11.4%
回答者数		132	100.0%



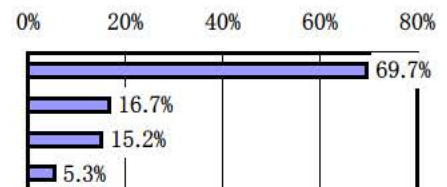
Q4-1. 実施する曜日と時間について

項目		件数	構成比
1	平日の昼間がいい	23	17.4%
2	平日の夜がいい	13	9.8%
3	土・日・祝日がいい	96	72.7%
n	無回答	8	6.1%
回答者数		132	100.0%



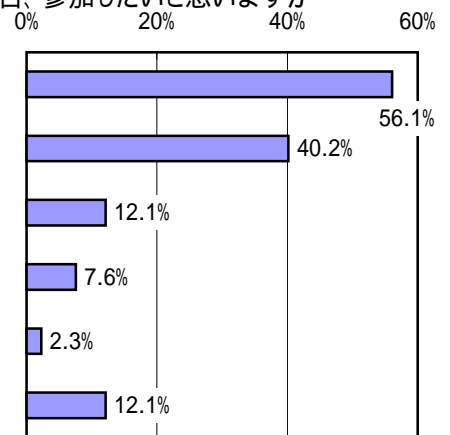
Q4-2. 実施場所について

項目		件数	構成比
1	街中の交通の便がよい所がいい	92	69.7%
2	川の近くなど自然に触れあえる所がいい	22	16.7%
3	その他	20	15.2%
n	無回答	7	5.3%
回答者数		132	100.0%



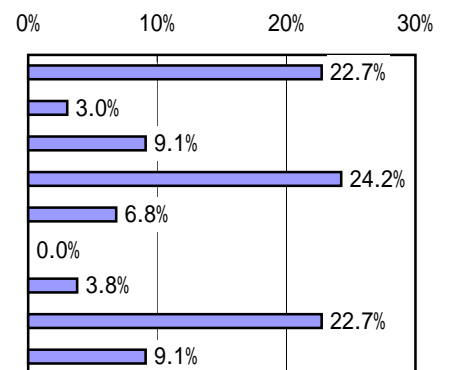
Q4 - 3. 今後、流域委員会主催の一般を対象とした意見交換会が開催された場合、参加したいと思いますか

項目	件数	構成比
1 今回のようなグループ別の意見交換会に参加したい	74	56.1%
2 一般の流域住民から意見を聴く会に参加したい	53	40.2%
3 通常の会議を傍聴したい	16	12.1%
3 自分の意見を発言できる場に参加したい	10	7.6%
3 あまり参加したいと思わない	3	2.3%
n 無回答	16	12.1%
回答者数	132	100.0%



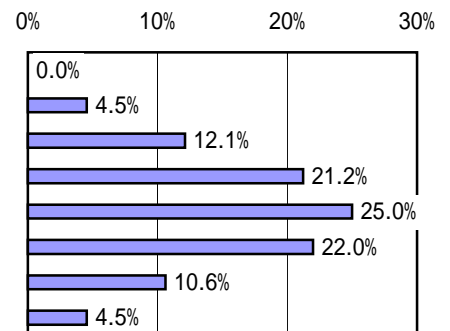
Q5. [職業]

項目	件数	構成比
1 公務員(河川関係者)	30	22.7%
2 公務員(その他)	4	3.0%
3 NPO等関係者	12	9.1%
4 会社員・会社役員	32	24.2%
5 自営業	9	6.8%
6 学生	0	0.0%
7 主婦	5	3.8%
8 その他	30	22.7%
n 無回答	12	9.1%
回答者数	132	100.0%



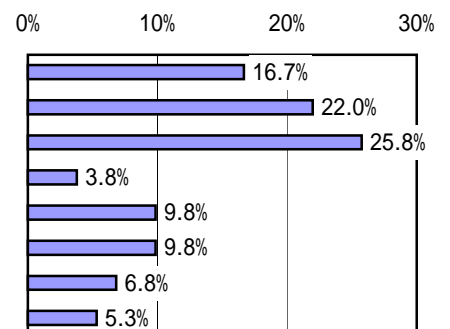
Q5. [年齢]

項目	件数	構成比
1 20歳以下	0	0.0%
2 21～30歳	6	4.5%
3 31～40歳	16	12.1%
4 41～50歳	28	21.2%
5 51～60歳	33	25.0%
6 61～70歳	29	22.0%
7 71歳以上	14	10.6%
n 無回答	6	4.5%
回答者数	132	100.0%



Q5. [お住まい]

項目	件数	構成比
1 京都府	22	16.7%
2 滋賀県	29	22.0%
3 大阪府	34	25.8%
4 奈良県	5	3.8%
5 兵庫県	13	9.8%
6 三重県	13	9.8%
7 その他	9	6.8%
n 無回答	7	5.3%
回答者数	132	100.0%



適切だと思う意見交換の時間	件数
40分	1
120～150分	2
120分	23
150分	4
休憩をはさんで2～3時間とるのが良い	1
180分	8
180分(90分×2回)	1
180～240分	1
半日	1
1人1分	1
1人5分	2
1人7分	1
1人当たりの発言時間を制限しすぎである	1
数回にわたって	1
何回か必要	1

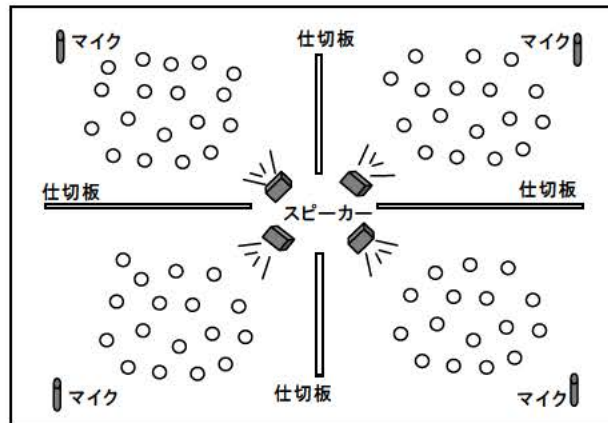
発言しやすくなるような運営方法についての具体的なアイデアや本日の運営での改善点等
今回初めての参加だったのですが「しっかりしてや!!」は言い当てています。今回の参加者はまともな住民の人はいないといってよい。エゴ、タコツボ、マイナス思考ばかり。このバラバラが川を悪くしている。委員会では、これらの調整に大変な労力がかかると思いますが、しっかり活動しているところを見つけ出し移譲していく制度など取り入れていいたら、頑張ってください。
グループごとの発言が交錯して聞こえるのが気になる。ホワイトボードに発言趣旨をメモしていくのは分かりやすくてよい。
今回のシステムの中に地方行政の影が薄い事を非常に多くの問題が発生した原因と考える。委員会のメンバーは専門分野の知識者であるが、住民と対応する行政手腕には大いに問題ある。今後委員会を続けていけば、国土交通省だけでなく地方自治体をも含めての議論が望まれる。
他のグループの声が聞こえ、集中出来ない。これではあまり意味がないと思う。
本日の交換会はダム反対論者の一方的な発言の場のように、発展性のある意見や方向性がみられなかったことは残念であった。
テーマ、具体項目を明示して行うべき。委員から、議論すべき、意見を聴取すべき項目を提示した上で意見聴取した方がよい。
参加した人全員に一言でも発言を求めて欲しい(今日くらいの人数であれば)。委員会の300回を超える会議についての行動力はすばらしい。
猪名川グループで話し合わないといけない問題がいくつあって、どの点(詳細)を重点的にしないといけないのか、わからなかった。そのため話し合った部分にムラがあった。本当にただの意見交換で終わってしまったと思います。
発言時間が少ない。
話が聞き取りにくかった。同じ部屋で4グループでは...
マスコミ発表に注意。
ある程度の意見内容の整理・調整が望まれる。
話題性が高いものについてはその地元での意見交換会などの企画も必要ではないか。委員のバランス、専門家の所見をもっと充実させて欲しい。
各グループの声が飛び交い、聞きづらい点。
会場の都合もあるが、発言の内容が聞き取りにくかった。
パーティションで仕切ったのグループ討論は落ちつかなかった。本日の意見交換会の趣旨がきちんと伝わっていませんでしたので参加者に不満が残るのではないかと。貴重な機会なのでもっと準備を周到に。
他のグループの声が耳に入り集中できなかった。
議論はテーマ別にすべきかも。琵琶湖の話題であれば広くなりすぎてしまった。
伝聞からの紹介は極力排除し、自らの経験、体験に基づいた質問、提案を具体的にごく短いフレーズで発表してもらおう形式を採用してはどうか。意見・質問の集積と議論を切り離してはどうか。
各グループの意見の声が聞こえ、参加グループの意見が聞こえない！部屋を分けるべきだ。パーティションでは音をさえぎっていない！司会が下手だった。
淀川水系流域委員会は河川管理者(国土交通省)のための勉強会とみえる。勉強したら、住民への勉強会を開催して欲しい。水系全体というよりは、個別問題(地域単体)と感じた。国全体からの視点での回答や世界的な視野での回答が頂きたい。
1室の会議で4グループをパーティションでやること自体無理だと思う。他のグループの声が大きくて聞こえない。
議論のすれ違いが多い。進行を改善すべきである。
環境について、分類して意見交換してはどうか。水質、生物、自然etc...。グループ報告でも明らかなように発言ひとりじめ、だ！！
いろいろ工夫されていて、よかったですと思います。
(ややではなく「不満」)今日は河川整備計画についてではなく、流域委員会に対する意見をお聞きしたいと言っていたにもかかわらず、ダムの賛成・反対の意見に終始していました。司会の人、しっかりせー！
NPOの団体から意見は多く出るが、地元意見が聞けてないとのこと。地元を一番把握している地元自治体(市町村)から十分な意見が聞けていなかったのではないかと。また、地元議員が発言されていたが、それは個人の意見であり、議員団の意見なのか、議会の意見なのか、色分けが必要ではないのか。地元の活性化は地元自治体の意見なしでは交換会にはならない。
テーマに応じて現地で行うこともいいのでは？

<p>今後も適当な回数の意見交換会を開催して欲しい。運営であるが、テーマを始めにいくつか選定して(どう選定するかは一般の方々からあらかじめ意見を提出してもらってテーマをいくつか選ぶのはどうか)テーマ別に議論(意見交換)するのがよい。</p>
<p>流域委員会を一度伊賀の地で開催していただくことをお願いいたします。</p>
<p>ただ、賛成・反対それぞれが主張を述べ、ストレス発散の場になっている。ある課題を解決するにはどうするかといった方向性を持った議論を行わないと建設的な議論にならない。淀川方式を始めて見たが、この方式が本当に議論をつくした方式か疑問を感じる。</p>
<p>気象の専門家が流域委員会にいない。</p>
<p>他のグループと隔絶した場所で、つまり独自に部屋を設定してこうした会を開いてほしい。なお、「意見交換」をテーマ別に行うことも考えてほしいし、環境団体の要請に応じて「意見書」を説明してほしい。</p>
<p>グループ別に日と場所を決めるべきではないか。</p>
<p>パーティションで仕切るのではなく、部屋を分けるべきでした。</p>
<p>もう少し意見交換できる方向で進行していただければと思います。そのためには案内を出される時点で、もう少し絞った方法はどうでしょうか。出た意見について、書記の方法。</p>
<p>各グループの発言が重なって聞き取りにくかった。別々の部屋で行った方が良いのでは。意見交換会というより一般(地元)の方からの苦情の発言の場となってしまったような感がある。議論のすれちがいを感じた。</p>
<p>問題点別のディスカッションが必要。</p>
<p>冒頭発言者の発言の中から、テーマを絞り、順序立てて討論進行を企ててもらいたい。(猪名川グループ)</p>
<p>工夫の余地はあると思う。議論がかみ合うことは相当むずかしい。発言者も自分の言いたいことだけを言うことが多いので!</p>
<p>他グループの声と混ざり合って聞こえにくかった。</p>
<p>事務局が意見交換しやすいように努力されたのは理解出来るが、グループ別は大部屋では少し難があるように思えた。別グループの声がやかましくて。</p>
<p>グループ別での議論は意見が集中し、好ましいものと思います。ただ、他グループの声が聞こえるために聞き取りにくい場合も生じたので会場の工夫を期待します。</p>
<p>委員との意見交換になっていない。意見発表者の言いつばなし。テーマを絞って議論しないと意見の交換にならない。</p>
<p>特に会場に問題がありました。 ・隣のグループの発言で聞こえにくい ・マイクの本数が少ない ・マイクを発言者まで運ぶスピードが遅い</p>
<p>あと、本日の会では議事録を作成しないとのことですが、色々な意見も出ており、議事録の作成は必要と思います。</p>
<p>案内チラシに意見交換とあった。当日の司会から委員会の運営や今後について発言とのことで、とまどった。対話にならず、発言だけで終わった。お互いに理解が深め合えなかった。発言時間を守るべきだ。最初1分で全員発言させてはどうか(問題点の提起に限って)。集約すると後の運営がスムーズに行くのではないかと。国土交通省への意見が多く出された=国土交通省が住民から日常的に距離があることの証明になっている。</p>
<p>雑音が大きく、集中できない。個別テーマごとに部屋をわけてすれば?多方面より貴重な意見参考になりました。もっと工夫しないと意見を噛み合わせるのが困難。最初だから仕方がないか。</p>
<p>・会場に難あり。マイクを通してあちこちから声が聞こえ、落ち着かなかった。 ・余野川ダムの地元の人たちの推進賛成に対し計画を作った河川管理者の存在がないのは困る。全て流域委員会の責任にするのはおかしい。</p>
<p>傍聴者の意見も聞いてほしかった。</p>
<p>各グループかなりの人数が参加されたので、パーティションだけの区切りでは意見交換内容が聞き取りにくかった。グループ討論には賛成です。</p>
<p>住民意見の発表者の事実誤認が討論をダメにしているところがある。</p>
<p>隣のグループの声が大きすぎる。</p>
<p>論点と進行役をしっかりと。</p>
<p>運営(司会)される方は、大変ですが頑張ってください。参加メンバーの規模を調整する必要があるのでは?(小さくすれば数回の開催が必要になるし...?)</p>
<p>住民の率直な意見をさえぎる委員からの発言があった。本人からの反省もありましたが、発言者が発言しやすいような運営に今後気を使っていたきたい。</p>
<p>グループごとに別の部屋にすべき。発言が聞き取りにくかった。</p>

机を八角形に並べて、人数が多ければ2重3重の輪に席を設けるべきだと考えました。本日の様な内容だと、やはり出席者が平等に発言出来る机の並べ方をすべきだ。本日の椅子だけというのは、野外ではよいだろうが、広いホールでは机を並べて輪になって向かい合い、意見を出しやすい環境作りをするべきである。
委員の「基礎原案」や「意見書」の長々とした説明は害あれど益なし。 参加者発言(3分)をできるだけ多くすると盛会になる。 委員会 = 委員の発言は不用。
・ダム反対組の発言主で、彼等は促進組の意見を聞かない。時間制限無視/強制的に発言停止させるべき。 ・意見概要をあらかじめ提出させ、委員会事務局で発言者を決める方がよい。 ・発言者は提言を読んでいるのか？
自治会の役員でも認知度、関心度が極めて低いので自治連などを通じて、各自治体に「河川環境委員」1~2名を増員してもらうように要請して、自治会単位での盛り上がりを図っては如何かと思ひます。(増員は自治会の自主制とし強制しない)(特にゴミや排水は個々の家庭が関わっており、汚染原因でもある)
私自身は淀川流域住民ではない。木曽川水系住民。(この項の回答になっていないですが)「淀川モデル」の最大の問題は流域委員会自体にカネがかかりすぎている点である。このまま全国化することはできない(財政的に無理)。この検証と問題克服の具体策が問題である。
司会がよかった。
できれば発言者は1回のみと限定して運営すべきではないか。テーマをある程度絞りで込んで議論を進めれば良いのではないのでしょうか。環境(生物・水質等)の話題を掘り下げて議論してほしい。
進行を考える必要がある。
・大部屋でグループ分けして実施したので、隣の発言者の大きな声が耳障りだった。やはりそれぞれ小部屋でやるべきではないでしょうか。 ・河川管理者主催の円卓会議のように、この意見交換会もさらに何回か開催したらいいかがでしょうか。
(やや不満ではなく)全く不満。進行方法を考え直すべきである。論点がバラバラである。わかりにくい。
音響の設備がよくなかった。意見を言いつつなしてあったと思う。
流域委員会委員の不参加者、本日の半数では少しおかしいと思ひます。忙しいのはわかりますが参加者は一生懸命で頑張っている。
淀川は長い。上と下を区切るべき。
一人一人に発言の機会、思いを伝えられるような方法を考へては？特定の人だけが発言していました。利用に関しては、グラウンドとかは認めないということになっているが、京都の市街地特性から考へるとオープンスペースは少なく、河川に依存する部分は多々ある。都市防災としても河川の役割はあるはず。水防だけでなく、地震・火災などの災害時における河川の果す役割についても考へていく必要があるのでは。そのために、河川では環境に配慮しつつ、市民が愛着と誇りを持てるよう、環境・利用をより一層柔軟に考へていく必要がある。グラウンドがいけないという一方的な計画はどうか？都市防災からの視点からは広域避難、防災拠点としての位置づけも必要で、そのような多様性を持つ計画にしていくべき。
委員との意見交換が出来なかったのは目的と異なる。個々の意見発表に終っている。
流域委員会への意見より国土交通省への意見・不満が主で、また自分の主張のみ述べる方が多く、河川整備計画をまとめるための意見が出なかった。
同じ人が2度3度と発言、そしてその意味が分かり難いので困った。全体に聞き難い。
今回の意見交換会での冒頭発言者への依頼からテーマ(流域委員会への意見)を絞り意見交換できるようになっていない。発言者の意見に対し、委員会としての説明が不足。責任を持った発言となっていない。委員個人が責任を持った回答すると意見交換会の運営が良く進むと思う。
なぜ住民参加部会、住民意見聴取をテーマに取り上げる部会がないのか、個別の部屋でやらないと充分聞き取れない。
進行役がもっと強く論点整理をすべきだ。遠慮することはない。
論点がずれた。委員が地元に行くことより整備局の立場でもっと地域に行くべき。実りのない会だった(猪名川、前半について)。今日は止々呂美の代表者の意見を聴く会になったように思う。住民参加の会の開催として評価に値すると思う。
マイクが不調でよく聞き取れなかった
全く不満
インターネットで議論するのは？
淀川(治水・利水)グループの冒頭発言が淀川水系流域委員会の意見書や会議の内容を理解されているのか疑問を感じました。新しい川づくりに向けた流域委員会の今までの取り組みが冒頭発言者によって一気に逆戻りしてしまい意見交換が混乱、とまどい、不一致・・・とかみ合わないままで残念でした。

本日の意見交換会について、不満や改善すべき点
1グループの人数を考えると、ワンルーム方式はしんどい。話が散漫になる。自己PR的発言は進行役ですぐストップさせるべき(進行役は大変な役割だと思いますが、ルールは守らせて下さい)。
論点をはっきりさせ、自身の主義・主張を述べる場でなく、そのテーマに対する意見交換の場とすべき。
河川整備計画における、治水、利水と環境を柱としているが、治水と利水については、数字で表わせるが、環境については数字で表わすことが難しい。
マイクが故障していて、時々使えなくなっていた。
提言を出す前にすべきでないか。
会場設営を考えた方が・・・
テーマ別に細分化、グループ分け。
部会と地元関係者との意見整理が不十分。
会場の運営、声の通りが悪く聞こえにくかった。委員の説明はあまり必要と思えないが(出版物を通じて理解できる為)、多かったと思う。意見を深める手段があまり用いられていないように思えた。 回答をまとめる方向も必要な時期ではないか。
同じ人が何回も発言するのも良いのか。それより多くの方々の意見を求めることが、今後の課題か。
猪名川部会でダムについて議論があったが、今回の地元の認識と流域委員会の認識にずれがあることが明らかになったことが一番の成果。これを踏まえての今後の流域委員会の動きに注目したい。止々呂美の方々の声を公開の場で聞けたことはよかった。もっと早くからすべきだったが、今からでも遅くない。私も耳を傾けていきたい。対話、討論の経験が少ないので、試行錯誤はまだまだ続くだろう。
色々な立場からの意見を聞くことができ、よかった。
しっかりせいであれば、一方通行であれば良いと思う。テーマ別ではないはず。
地域活性化を望む人は、自分の生活にも身接しているが、自然を残すことを望む人はその人達の生活に身接していない。都会で住み、心のやすらぐ場として自然を望める。これはその人たちのエゴであり、自然を残さないといけないが、人のニーズや利用が一番ではないのか。地元住民の方の意見がもっとも一番優先すべきである。
ホットな語りを子どもたちにも見せるべき。不満を語る会から川を語る会に変えてもらいたい。
流域委員会の方が地元止々呂美に来て住民の意見を聞いてほしい。
ダムは治水面からの議論が主体になった面が多いが、ダム他によって水温が上昇する影響が大きいと思う。ことに温度との関係の議論を進めるべきである。
最初の挨拶、説明、もっと端的に！(時間をもったいない) 意見がせめてホームページには掲載されますように。
隣のグループの声がうるさくて聞こえない。入っているか、入っていないか分からないようなマイクを使うな。
前述(Q2:NPOの団体から意見は多く出るが、地元意見が聞けてないとのこと。地元を一番把握している地元自治体(市町村)から充分な意見が聞けていなかったのではないかと。また、地元議員が発言されていたが、それは個人の意見であり、議員団の意見なのか、議会の意見なのか、色分けが必要ではないのか。地元の活性化は地元自治体の意見なしでは交換会にはならない。)の通り。さらに積み重ねが必要と思う。
Q2に記載したような内容(今後も適当な回数意見交換会を開催して欲しい。 運営であるが、テーマを始めにいくつか選定して(どう選定するかは一般の方々からあらかじめ意見を提出してもらってテーマをいくつか選ぶのはどうか)テーマ別に議論(意見交換)するのがよい。)
ある特定の者の主張の場でしかない。テーマを絞った議論を行うべきでは。
意見に対して答えられない流域委員。
前述した(他のグループと隔絶した場所で、つまり独自に部屋を設定してこうした会を開いてほしい。なお、「意見交換」をテーマ別に行うことも考えてほしいし、環境団体の要請に応じて「意見書」を説明してほしい。)。後日、委員会あてに「ダム問題についての説明」を聞く機会を申し入れますが、その際はよろしく。
意見の言い合いはあったが、交換はなかったように思う。
とても勉強になりました。

他部会の発言も耳に入る。マイク、スピーカーの配置を考え直してほしい。たとえば、下の図のようにスピーカーの音が干渉しあわないように。



サブテーマを決めた方がいいのかも知れない。又何でもありのしゃべり場風にするとか、続くというのはどうか。テーマ1つだけでも時間は足りないと思う。初めの発言者は、つながっていかないのでは足りないのではないのでしょうか。

①グループごとに分かれて交換するのであれば、別の部屋にすべき。②議論の進行をもう少し整理できなかったか。つまり、何について話をしているのか①②③ときちんと分けて。

流域委員の活動やプロセスに対する意見交換が非常に少なく、ともすればダム建設の是非の意見が多すぎた。感情的に。

出席したグループの話は聞け、満足していますが、他グループも興味を持ったのですが両方出席が無理で残念でした。

マイクを使用したのであれば会場を分けるべき。

グループに分かれて「どこが良くなかったでしょうか」「今後どうすれば良いでしょうか」について意見交換を行いました。川上ダムや日吉ダムなど個別事業の話に片寄りがちでした。これまで日本では公開の場で事業について意見を出し合う場面すら無かった訳ですから、一般の参加者や進行役、そして事務局ともまだまだ不慣れな点が多かったと思いました。会社の会議でも同じと思いますが、意見を出しやすくするためには、テーマの本数を増やしても構いませんので、もう少し「〇〇の点について」など具体化したほうが良いと思います。

Q2-4に書きました(案内チラシに意見交換とあった。当日の司会から委員会の運営や今後について発言とのことで、とまどった。対話にならず、発言だけで終わった。お互いに理解が深め合えなかった。発言時間を守るべきだ。最初1分で全員発言させてはどうか(問題点の提起に限って)。集約すると後の運営がスムーズに行くのではないか。国土交通省への意見が多く出された＝国土交通省が住民から日常的に距離があることの証明になっている。)。河川に関心を持つ人を育てる姿勢を国土交通省、流域委員会に強く求めます。委員会が育成するためにどのようなことが可能か検討し、実行してほしい。(各委員さんは御多忙だと思います)。

グループ別の配置とか防音の工夫必要。他グループのマイクでの発言が気になる。こちら内で聞こえ難い。制限発言時間が短すぎる。

地域住民(ダムサイトの)の思いを直接開けたのは新鮮だった。今までダム反対側に立って活動してきたので。

Q2-4と同じ。グループ討論は部屋を変えて行った方がよかったのでは。

意見交換会はこんなもので、結論を出すわけでもなく、いつも不満を残しているものなのかな！！

河川管理者から、調査・検討の結果が出てこないと具体的な論議ができない。意見の分析が必要。

流域委員会の参加されるメンバーの思いや、意見が多様であり、まさに「流域」であるなと思いました。今回の意見交換会で、自社の製品のPRで参加された方がいた事が残念です。私は大阪府堺市に在住するものです。子どもが10才と5才の男の子がいます。今までいっしょに川で泳いだ事ありません。次世代の彼らが川から遠ざからない様にしたいと思っている父親です。早くいっしょに川で楽しく遊んだ思い出をつくってやりたいと思っています。

流域委員会の委員が進行役を努めるのは問題。進行役ならその役に徹するべきで、意見を言うべきでない。議論が誘導される懸念がある。

的を絞ってやるつもりなら、始めから「猪名川流域余野川」について発言しあうなら、そのテーマで、次回は具体化し良いように、意見を発言検討し易いように地元の皆さんが望んでいるように「地元」でやるべきだ。

具体案:5/22(土)10:30～(弁当持参)、13:00～16:00、現地河川余野川付近で。猪名川・余野川河川について具体案をまとめた提言書を作成する会を開催希望！

琵琶湖河川事務所開催の対話討論会「河川敷・利用」「天ヶ瀬ダム再開発」の運営を参考にされたい。

意見の中に、殆んど～大学or研究所 研究によれば～との(主として)反対組の意見主張が見受(聞)される。世の中に色々の研究/反対の結論も多々あるので、発言を文書の形にした方が議論が明確になると思う。しかも全部公開で、声大きく、多勢での押しかけに似た意見が主になるのは議論ではない。議論の全体像が見えない。総合検討になるよう配慮していただきたい。住民エゴであることが殆ど、ぜひ上記「文書による公開方式」で進めてください。
グループ参加者に3～5点の問題点を箇条書きにして開始前にメモ用紙で提出してもらい、即、集計しOHPを使用しながら、的を絞り込んで共通項の意見交換の方がよかったですのではと思う。広く意見を求めることも必要だが、時間が制約されており、まとまりのない討議になる恐れもあると思います。
本日出た問題点について、共有必要。
各グループ討論は別会場で他部会の声が聞こえない配慮が必要である。討議資料の早期入手を期待している。
意見の交換となっていなかった。いいっぱなしの場だけであった。
・会場をグループ別に ・論点を絞って全発言者は5～10名選び、傍聴者の発言は全発言者が一巡してからにしたら？ ・本日は止むを得なかったが不満足。
マイク等の備品をしっかり準備されたい。いちいち「マイク入っていますか？」というのは時間の無駄である。本日出された意見ひとつひとつについて、流域委員会として回答するとともに公表すべきである。聞くだけでは進展しない。
先生のまとめ通りだと思います。もう工夫したらいいものになると思います。
時間が少なかった。
私は利用で来ました。もっと下流の淀川利用について討論したかった。
淀川グループ(環境・利用)でしたが、論点が明確でなかった。流域委員会運営への文句なのか？整備計画の内容についての議論なのか？特に環境・利用についての議論にはならなかった。情報公開、市民参加についての議論であったような気がする。もっと環境や利用のあり方について意見交換ができれば。
とりまとめるファシリテーターの役の力量不足。とりまとめ説明者の整理の方法がバイアスをかけたものとなっている。
会の主旨が判っていない発言が多かった。
時間が長ければ良いわけではありませんが全体に時間不足。各グループの部屋を分けないと聞こえない。
委員会としての役割と責任を明確にし、テーマ毎に委員会としての意見交換会運営プロセスを説明し、運営すべき。冒頭にテーマ・運営プロセスの説明があったが、発言者とのキャッチボールがうまく行っていない。うわべだけで時間が過ぎたように思えた。へたすると、河川管理者への不満が意見交換会での発言しているように見えた。
発言者が一部に限定されてしまった。もっと多くの参加者の意見を聴くべき。参加委員の顔色ばかりうかがうような司会者は司会者の中立性を失う。
ダムの地元関係者の画一的意見が多かった。委員はしっかりやってきたんだから、自信を持って、彼らに答弁すべきだ。
委員会と地元代表が水掛け論になったことに対する不信感あり。行政がダムの見直しを発表した事。(流域委員会の提言を受けて精査検討すること等)の理解が地元民にないのは何故か？地元の方は「自分たちの意見が正しいのだ」が前提、基本になっているので、討論は難しい。
流域委員会はよくやって、委員諸先生も学ばれたと言われた。現場、現状から学ぶことから認識が深まる。その点で川のことは川に(川と生きて来た住民)の知恵をもっと中心にすえてほしい。「百姓」というのは自然万般に精通しているという意と聞く。学者の先生は専門的助言者が必要だが、主体は住民である。委されたら住民の勉強はいっそう啓発され賢くなり、「自治」の荷い手として成長していく。之なくしては住民納得合意は獲得されぬだろう。流域委員会の功績は大きいが、過渡的成果であって、之が「モデル」だと固定化、有頂天になって欲しくない。
発言が僅か数十名の会議であるにもかかわらず非常に聞きづらく、少々不愉快な気分。マイクの不調の原因か。
琵琶湖自体ダムやのに、まだダムがいるのか！！琵琶湖の富栄養化が止められないのに、まず先は、琵琶湖の水が飲めるようにしてほしい！！魚が死ねば人も死ぬ！！
一般論に終始せず、地域の本音の意見が聞けてよかった。
開催の主旨が徹底していなかった。意見書まで出ているのに”初めての参加”した人に発言させていた。これは間違いと思う。(自分のやっていることの発表会と間違っている人がいた)
反対、賛成の対場の意見ばかりでどうしていこうという意見交換が少ない
連絡を出来るかぎりFAXでお願い申し上げます。
・会場を分けるべき。 ・進め方が当日でないとわからない。
治水と環境を分けるのはおかしい。河川毎でもよいのでは。上流、下流。
司会進行をうまく行わないと同じ意見、あるいは陳情になってしまうので、周到的準備が必要では。
他のグループの声などが騒音のようになり集中できない。計画そのものが良いだけに会場運営をもっと研究すべき。

分散会場を話しやすい場所に求めるべき。発言意見も7分位にすべきです。
賛成、反対の意見時、感情的になりやすいと思う。うまい方法がないかどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・会場が狭く、隣りのグループの声で聞こえなかった ・運営が悪い ・委員の参加が少ない ・好き勝手言いすぎ(委員が) ・委員会の意見と委員の意見が混同している
NPO? 地域活動の人? が、自分の活動をアピールする。また、流域委員会委員は自分の専門(と思っている)の声を全体(すべて)かのように言う。ましてや、まやかしまいたいな営利目的な発言など無責任きわまりない。それより無責任なのは、このような会にも出ない河川など含め、社会や環境について全く無関心な、たぶん95%程度の人々に対して、せめて国政選挙の投票率の34%以上の方が出てくるような会にすべきである。
意見を出した人が片寄っていた。
グループ別の議論を1つのフロアでパーティションのみの区切りにしたことから、移動することが可能だった反面、隣の声が気になったり、同じグループの声が聞き取りにくいなど問題があった。淀川などは人数が多く議論が聞こえにくかった。個別の部屋にした方が良かったと思う。
ここに来てダムの地元の意見が噴出するのはなぜか。河川管理者は地元にとどのような説明をしてきたのか。河川管理者が逃げている。これまでの委員会へもっと地元の人も傍聴して意見を言うように進めるべき。委員会が責任をとる問題ではない。余野川ダムの住民対話討論会も続けてほしい。
<ol style="list-style-type: none"> 1.各グループを完全に分けて、よく聞こえるように 2.意見交換会の内容について事前に周知を 3.もう少し時間があればいいのでは
今日は止々呂美の人のダムについての思いをきくだけの会なのか、別のところでやってくれ。もっと具体的な委員会のあり方を議論したかった。
個別意見が多すぎる。
発言者の置かれている立場によって主張や考え方が違っているので仕方がないが、余りにも自己主張が強く、客観的な論議が交わされず残念である。
地元でやるべきでは。議論して意見が収束に向かうか不満。
<ul style="list-style-type: none"> ・声が聞こえにくい ・意見交換会でなく意見収集の場であった。会を重ねても結果が発表されていない。
グループごとに部屋を分け、落ち着いた会場で時間も3時間ほどとってお互いに意見をじっくり聞き、話せるようにしてください。始めに流域委員会司会者が討論する内容について焦点が合うよう参加者に伝える努力をしてください。

一般を対象とした会の実施場所 その他記述意見
ダム事業見直し検討している地域(部会で良い)
琵琶湖グループは滋賀県内すべき
その会の内容にそぐわしい場所
平日夜なら街中、土日祝なら川の近く
ダム建設予定の地域でやって欲しい。
必ずしも選ばない。委員にご一任(どちらもよい)
現場近くが良い
交通の便が優先と思いますが、議題によって現地の市町村に行って開催してください。
色々と変えても良いだろうし。
本日のグループごとに別々に、各々の地元で開催すべきだ。現地余野川河川付近が良い。余野川では細河コミュニティ会館、伏尾の鮎茶屋のグリーンホールなど。
都市部+ダム当問題のある現地。
いつでも、どこでも開催すべき。限定してやるような問いはよくない。
場所は問わず
各ダムの地元
宇治市
ダム建設予定地
どこでも
地域(グループ)の中心地でやってほしい。
地元でやるべき。
流域を対象として行って頂きたい。
テーマに添った場所で開催するべき。